

# 川内大綱引

- 【所在地】薩摩川内市  
 【種別】重要無形民俗文化財  
 【保護団体】川内大綱引保存会  
 【公開日】毎年秋分の前日

本件は、薩摩川内市に伝承される大規模な綱引き行事で、平成18年4月21日に県の無形民俗文化財に指定されており、稲藁を編んだ長大な綱を、上半身裸の男性たちが上方と下方に分かれて勇壮に引き合う。

川内大綱引は、綱練つなねりと呼ばれる綱の製作と、本綱ほんづなと呼ばれる本番の綱引きから主に構成される。綱練は、行事当日の早朝より、多くの市民や市内の団体などが参加して行われ、半日掛かりで大きな綱を練り上げる。綱の形態は、一本綱で両端にワサと呼ばれる大きな輪が付くのが特徴である。本綱は、当日の夜、市の中心市街地を通る国道3号線の路上を会場として行われる。上方と下方の両陣営ともに、一番太鼓や大将、押大将などの指揮のもと、太鼓隊や引隊、押隊などの集団が連携して動き、攻防を繰り返しながら綱を引き合う。



綱練  
 (綱の製作)



本綱  
 (綱引き)

(写真提供：薩摩川内市教育委員会)